●新発田駅前活性化

Ｑ.

長岡から孫のお守りで先月末来ました。イクネスに行くのがお決まりで、孫を歩かせるのがいいと思い徒歩でゆっくり行きました。行きはイクネスで遊べると目的が明確なので張り切ってましたが帰りはさすがにペースダウン。パンが好きな子なので「お土産にパン屋さんでも寄って帰ろうか」その一言で元気 100 倍！でもイクネス周りにはコンビニしかなく帰路途中にも店らしきものはなかったので仕方なく唯一 1 軒のコンビニでおやつを買いました。選べない寂しさが孫に申し訳なかったです。

駅前の活性化大事じゃないですか？新発田には図書館がイクネス内にあるこの施設だけと聞きました。町の規模に比較して少ないのに驚きました。電車通学の学生が駅周りで学習やコミュニティが持てるオープン図書館兼学習施設みたいなものがあれば若者が住みたいと思うんじゃないでしょうか？

例えて言えば長岡にはミライエ、市役所内アオーレも夕方多くの学生が集っています。

駅前に人が集まるのは年 1 回の台輪祭りだけ‥なんてそんな寂しい町になりませんように願う新発田に嫁いだ娘と孫の未来を案じるイチババです

（令和 8 年 10 月受付）

Ａ.

お孫さんと「イクネスしばた」まで歩かれ、帰り道に「パン屋さんでも寄って帰ろうか」と声をかけたところ、お孫さんが元気を取り戻されたというお話を、微笑ましく拝読いたしました。

その一方で、せっかくの楽しい帰り道に、立ち寄れる店がなく、パンを選ぶこともできなかったというお気持ちには、私自身も胸が痛みました。

新発田市には、駅前に図書館などを備えた「イクネスしばた」、中心市街地には、市庁舎機能と市民交流機能を備えた「ヨリネスしばた」があります。これらの施設は、長岡市の「アオーレ長岡」と同様に、学生をはじめ多くの皆様に、学習や交流の場として日々利用されています。「ヨリネスしばた」の「札の辻広場」では、様々なケータリングカーが出店し、来場された皆様に食事や買い物を楽しんでいただくなど、施設の賑わいを生み出しています。

また、駅前や中心市街地では、空き店舗を活用した新たなお店の出店が見られ、今年７月にも、空き店舗を活用したパン屋が新たにオープンするなど、まちに新しい魅力が生まれています。こうした動きを大切に育みながら、訪れる方々がまち歩きを楽しみ、地域のお店にも自然と足を運びたくなるような環境を整えていくことが重要であると考えております。

お寄せいただいた「お孫さんと歩きながら、パン屋さんに寄りたかった」というお話は、施設を利用する楽しみに加え、その行き帰りにも買い物や食事などの楽しみがあることが、まちの魅力を一層高めるのだと、改めて気づかせていただくものでした。

今後も、空き店舗の活用や新たなお店の出店を後押しするとともに、「イクネスしばた」や「ヨリネスしばた」を訪れる皆様が、周辺の商店街にも足を運びたくなるような、回遊性のあるまちづくりを進めてまいります。

そして、お孫さんと一緒にまちを歩きながら、「今度はあのお店に寄ってみよう」と

楽しんでいただけるよう、人と人との交流や新たな出会いが生まれる、魅力と温かみのあるまちを目指してまいります。

（令和 8 年 10 月 26 日回答）

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。